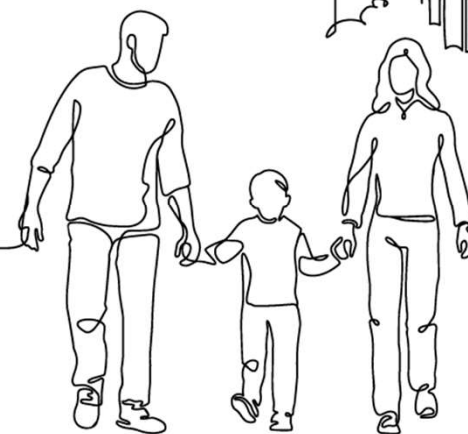




事業概要



会社概要

設 立：1943年4月2日

資 本 金：110億16百万円

従業員数：4,826名（2026年3月末時点）

証券コード：6407

業 種：機械

売 上 高：1,579 億円（2026年3月期）

株 式：東証プライム、名証プレミア上場

本 社：愛知県小牧市

事業内容：自動機械装置、駆動機器、空気圧制御機器、空気圧関連機器、
流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

本社（愛知県小牧市）



自動機械装置



機器商品

CKD

CKDの理念

Purpose

存在意義

自動化技術の探究と共創を続け
健やかな地球環境と豊かな未来を拓きます。

Values

価値観

C-SHIP

～C-SHIP～
CKDらしさ

Customer

顧客志向

Sustainability

持続可能性

Human

人材重視

Innovation

革新

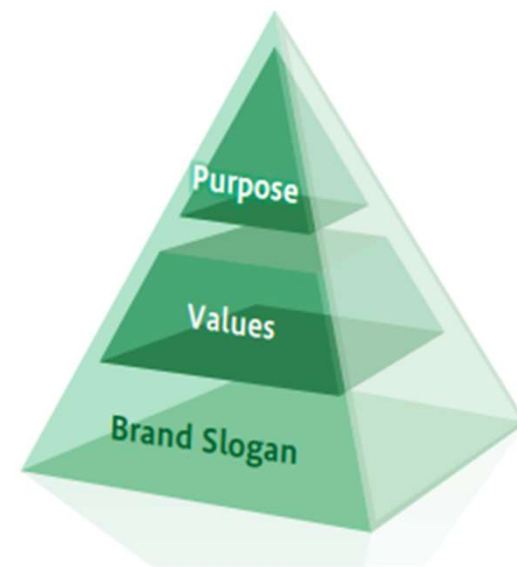
Professionalism

プロ意識

Brand Slogan

ブランドスローガン

Creating Solutions Together



CKD成長の樹

空気圧機器

駆動機器

電動機器

自動機械

ソフトウェア事業

空気圧制御機器

流体制御機器

ファインシステム機器

2030

2020

2015

2005

1995

1985

1975

1965

1943(year)

ExiaStudio
Focileo
Rinops

電動アクチュエータ

省力機器

蛍光灯製造機械

真空管製造機械

CKD CORE TECHNOLOGY

CKD

Copyright 2026 CKD Corporation

事業概要

自動機械

包装

薬品包装



産業機械

リチウムイオン電池用巻回機



食品包装



三次元はんだ印刷検査機



機器

流体制御機器

ファインシステム機器（半導体向け）



空気圧・電動機器

空気圧機器



流体制御機器（一般工業向け）



駆動機器



電動機器

CKDの強み

Purposeを起点に「強み」を活かした新10年VISIONを策定し、企業価値向上を図る

Purpose
存在意義

自動化技術の探究と共創を続け
健やかな地球環境と豊かな未来を拓きます

技術力

Smart Automation Technology

自動化に紐づく
多彩な技術力

革新力

Innovative Fusion

技術を融合し
提案を生み出す
革新力

共創力

Co-Creation

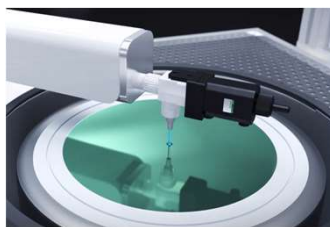
お客様のニーズに
寄り添う共創力

自動化を実現する多彩な技術力の代表例

超クリーン技術



流体制御機器



半導体前工程における超クリーン環境を維持

高耐久技術



長寿命シリンダ



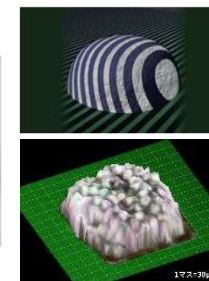
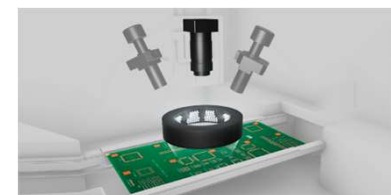
高精度アクチュエータ



助力装置

設備の長寿命化、工程の省力化を支える

光学検査技術

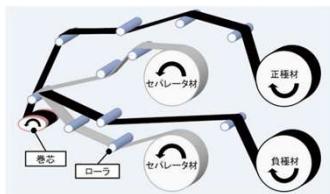


微細欠陥を非接触で検出

テンションコントロール技術



リチウムイオン電池巻回機

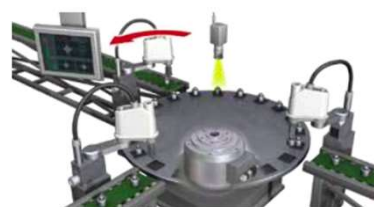


複数のフィルム材の張力を精密に
コントロールして巻き取り品質を安定化

モーションコントロール技術



サーボドライバ



半導体・電子部品製造装置における
高精度な動作・位置決め制御を実現

流体プロセス向けセンシング技術

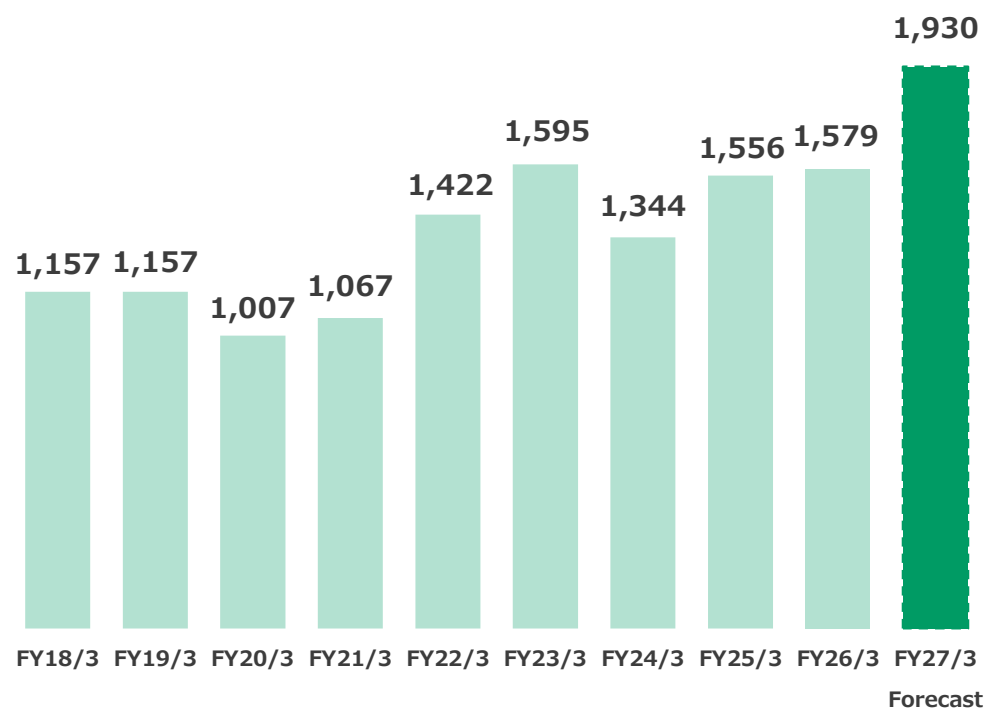


製造現場の流量・圧力の異常を
リアルタイムに検知

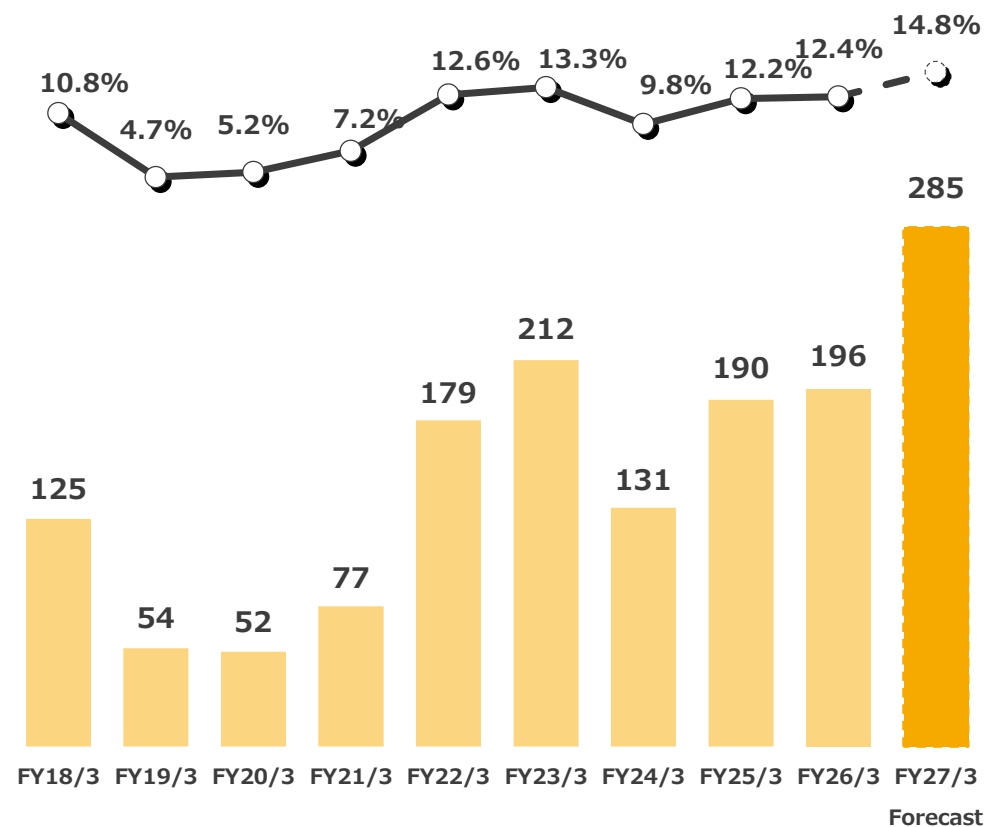
全社 業績推移

(単位：億円)

売上高

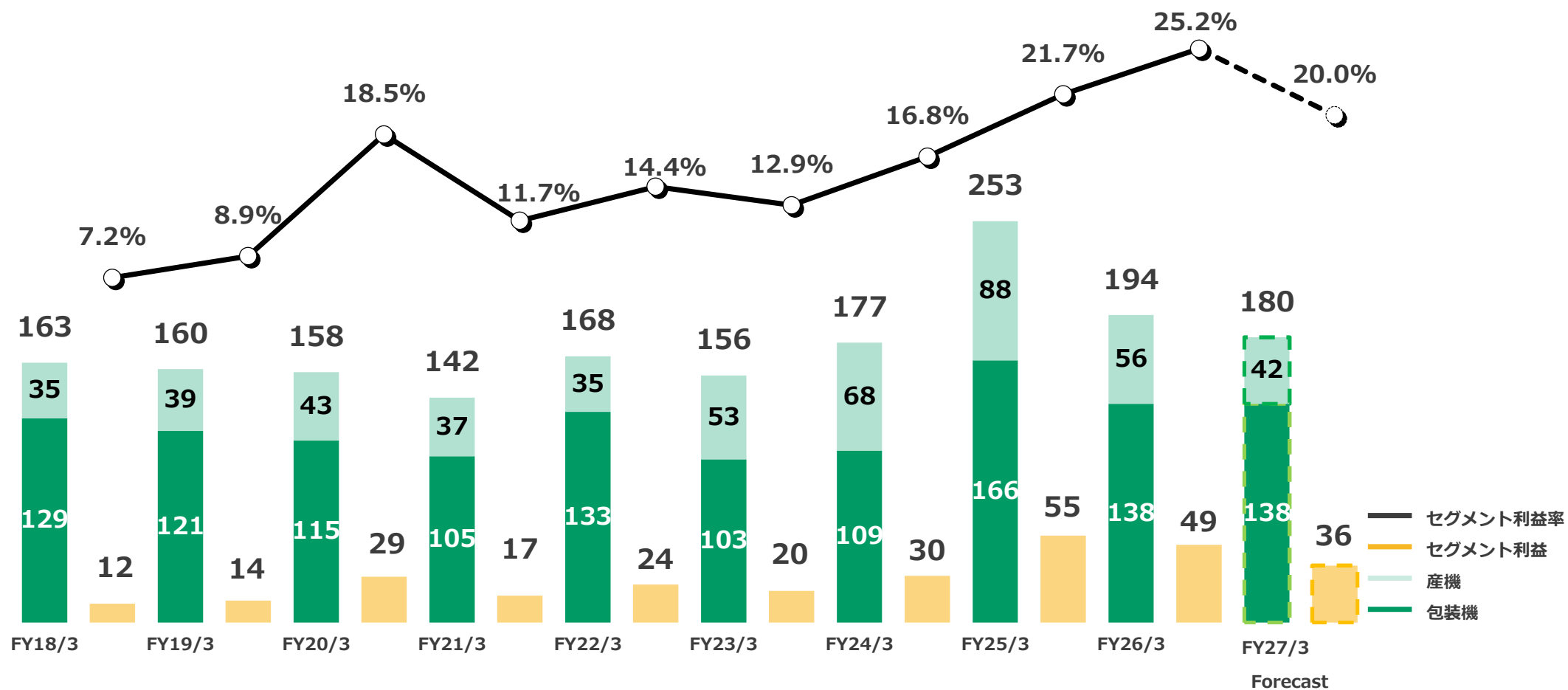


営業利益・営業利益率



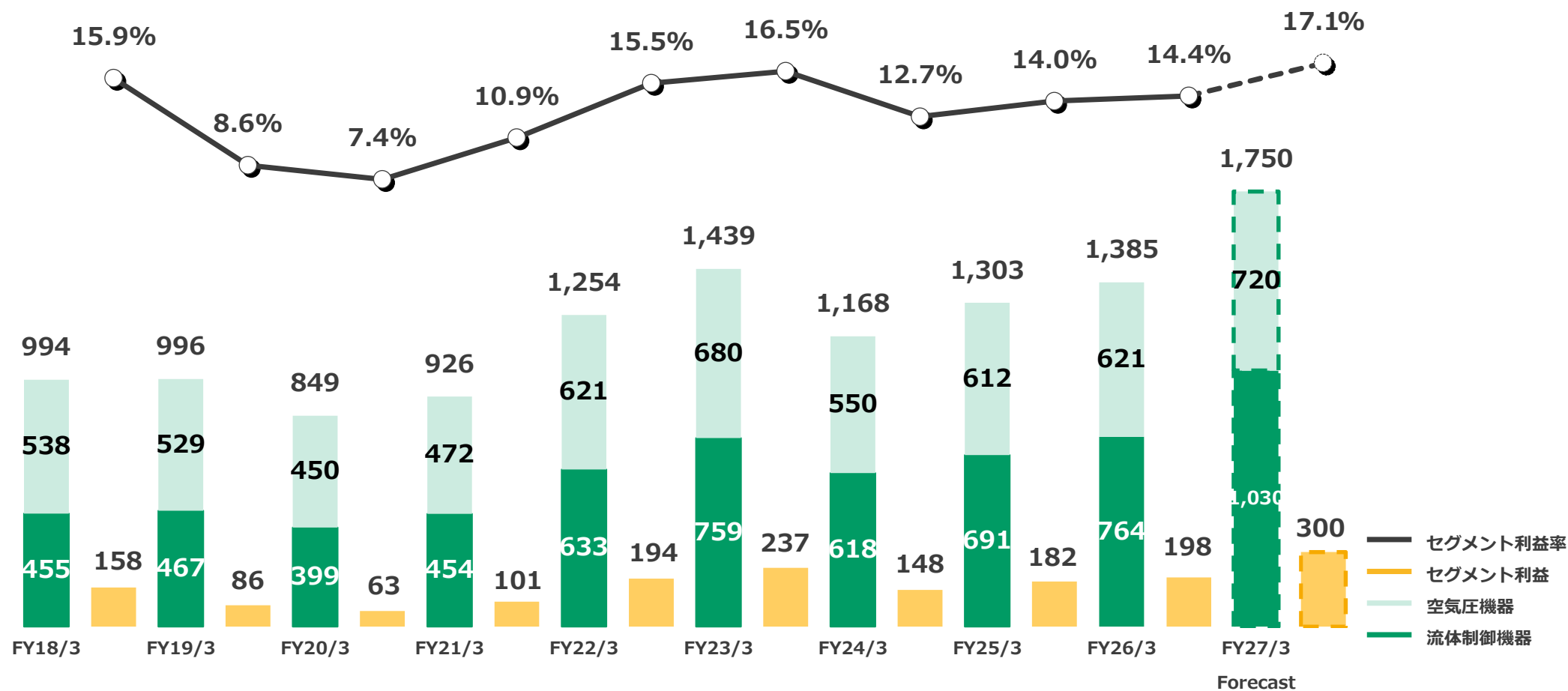
自動機械 業績推移

(単位：億円)



機器 業績推移

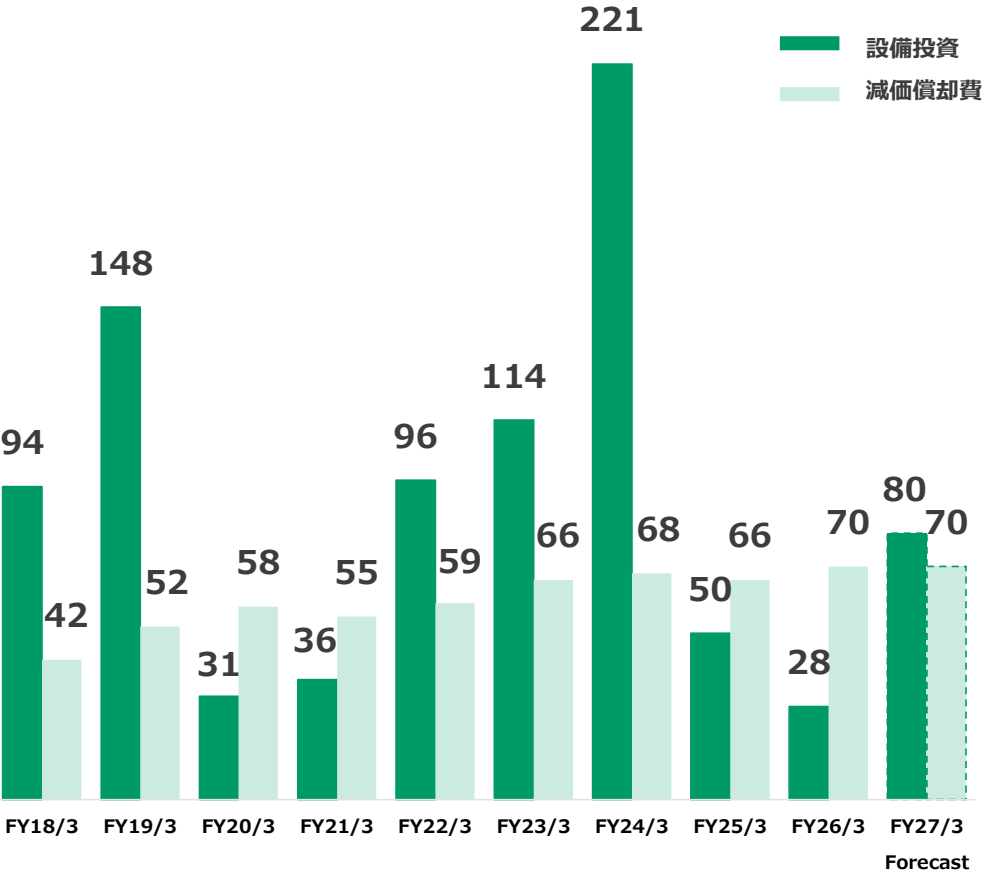
(単位：億円)



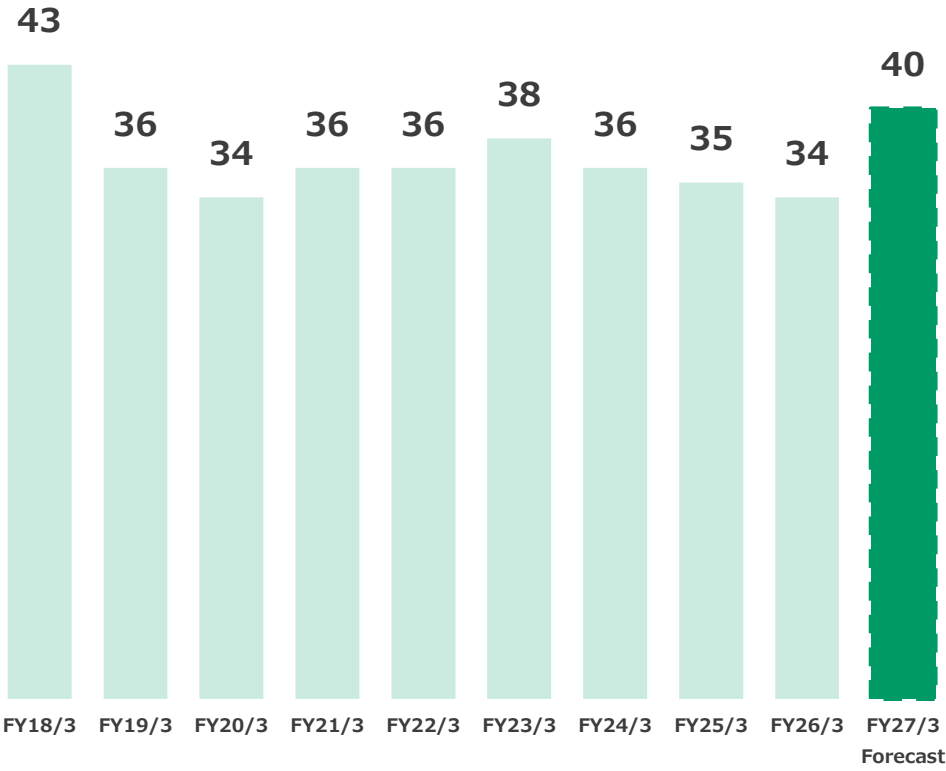
投資概要

(単位：億円)

設備投資・減価償却費

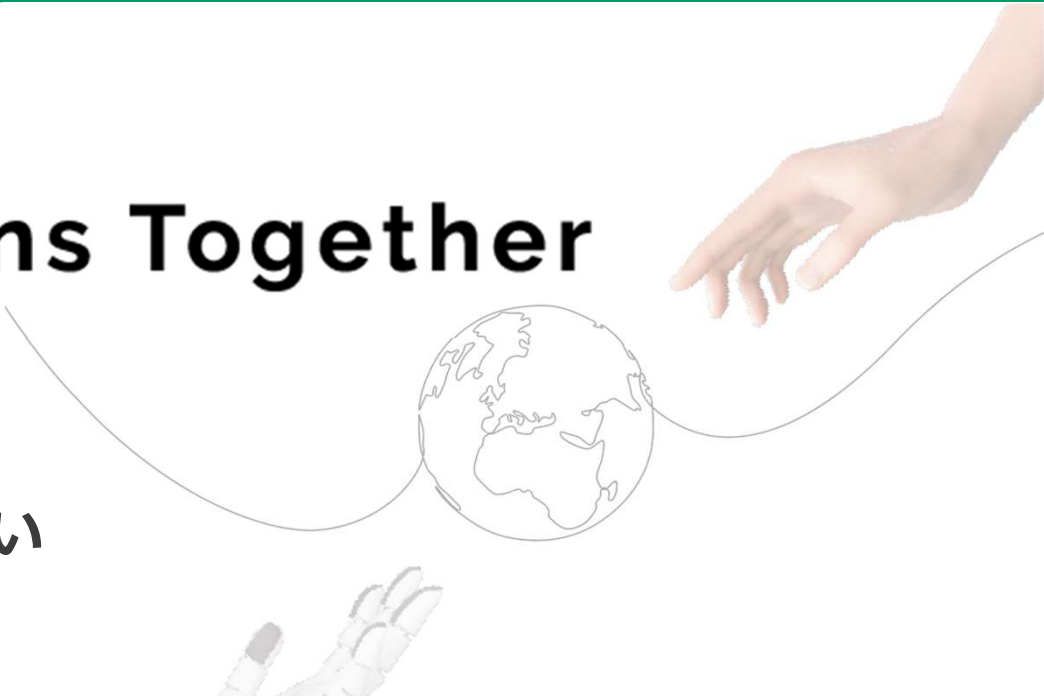


研究開発投資



さいごに

Creating Solutions Together



お困りごとをお聞かせください
3つの強みで解決します！

自動化を実現する多彩な
技術力

技術を融合し、提案を生み出す
革新力

お客様のニーズに寄り添う
共創力



【資料取り扱い上の注意】

将来見通しに関する注意事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

数字の処理について

記載された金額は単位未満を四捨五入、比率は円単位で計算した結果を四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。